



週報

2014～2015 年度 RI 会長 ゲイリー C. K. ホアン
RI のテーマ 『ロータリーに輝きを』
地区のテーマ 「行動 ACTION」 ガバナー 坂本元彦

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン 〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511

〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366

<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/> E-mail: schuohrc@p1.s-cat.ne.jp

会長 稲見 淳 会長エレクト 江原伸夫 副会長 坂本松男 幹事 江原伸夫

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1045 回(6 月 30 日)例会の記録

点 鐘 稲見 淳会長
合 唱 手に手つないで
第 2 副 SAA 浜野君 石川君
※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
39名	29名	72.22%	76.32%

会長の時間

稲見会長

最後の会長の時間をさせて頂きます。

私の仕事のお話をさせて頂きますが、私の所は、国土交通省をメインにして公共事業を行っており、全ての仕事に競争入札ということになります。これは昔から現在で随分と変わりました、最初は役所に行き入札をするという形でしたが、現在は全て電子入札になっております。そのため IC カードを持って、一つ一つについてまず申し込みをし、そしてそれで相手側が 10 社ほど選び、電子入札で価格をいれるということになります。

昔と圧倒的に違うのは、価格で勝負するのではなく、提案型ということになっております。そのため会社自身が点数を持っており、会社の過去の実績や表彰等によって取ってきた点数が背番号となり、また主任技術者になる者も全員が点数を持っております。最高点が 76 点以上は 24 点等、個人によって全員が持ち点を持っておりまして、会社の基礎点と主任技術者の成績、そして価格を合わせたもので落札するという形になります。そのため最初の公示から落札までに 2~3 ヶ月と、すごい手間が掛かっております。そして時々役所が間違えます。

間違った時はどうするかといいますと、役所の上の方 3 人位が会社に来て、「ごめんなさい」言うのです。「ごめんなさい」で終わりなのです。昨年 1 年で 8000 万円位間違えられました。異常な世界で、しかも謝りにくれば終わりなのです。2 度目

からは来なくて良いと言いました。

1 度目の時にはさすがに抵抗致しまして、そのような理由では許せないと言いました。するとまた持ち帰って後日謝りに来たのですが、やはり謝るだけで終わりでした。相手は企業の側で、我々は請け負う側になりますので、それについてクレームを言うことはできません。確かに我々は必死に、命を懸けて入札をしているのですが、出す方はそれほど深刻には考えないで、出しているということが現状です。

ついこの間もありまして、だいたい自分の会社の持ち点はわかっております。そして価格というものも我々は知識を持っておりますので、予定価がわかっており、落札金額とはその 76% に設定されているのです。そのため 76% に近い数字を、下では失格ですので、それより少し上の金額を入れて価格を出すのです。それと仕事に対する提案力を一緒にして、その総合的なもので落札がなされます。役所も一つ一つの項目をチェックするのに、だいたい一回に最低 100 社位は申込があるらしく、そこから選ぶということになるので非常に間違えやすいということが欠点なのですが、しかし一時は低入札で争っておりましたので、それがなくなり、普通の落札金額、76% で落札できるようになったので、初めて私の会社も健全になってきました。これが今の私の会社の仕事の取り方となっております。



幹事報告

江原幹事

1.(公財)埼玉県腎・アイバンク協会より 総会資料

2.狭山市交通安全協議会より
稲見淳氏狭山中央ロータリー
クラブ会長委員の委嘱状につ
いて

任期：自 27/5/1～至 29/4/30

3.狭山市交通概要、平成 26 年度交通安全ポスター
作品集等について

4.青少年を育てる狭山市民会議より「さやマルシェ」
操作方法研修会開催について

5.タミラ君より、モニュメント施設への植樹につ
いての写真とメールについて

6.受贈会報 所沢西 入間南 所沢中央各 R C

7.回覧 歌手 愛川れい子様よりお礼状

8.学友会ニュース 6月号 (第190号)



《 会員 3 分間スピーチ 》

田中八東会員

今日の 3 分間スピーチ、小島さんに強要されて出てまいりました。普段例会をサボっております。おめおめと皆様の前に立って申し上げるようなことはないのですが、実は私は裁判所の調停員をしております。火曜日と言いますのはちょうど調停日に当たってしまうのです。そのため欠席が多い訳でございますけれども、しかし地区の役員に 9 年位前から出させて頂いております。地区の会合はクラブの例会より多く、全ての会合がほぼメーキャップに該当するような会合になっております。

調停員は 70 歳が定年でございますので、昨年の 3 月に終わる予定でした。しかし任期中に 2 年間延期されてしまいまして、来年 3 月までということになってしまいました。来年の 3 月からは例会にきちんと出られるようになると思います。それ以前も、取り扱う裁判所の事件が少なくなりますので、恐らく今年の後半あたりからは出席できるのではないかと考えております。

地区の方では、研修委員、第 3 グループを担当ということで、昨年 9 月に第 3 グループの研修、フレッシュロータリアン研修を智光山公園で開催させて頂きました。こちらのクラブからも皆様に参加して頂きまして、素晴らしい研修ができました。しかし研修といえますのは、私も他のクラブに卓話に呼ばれることもあるのですが、どこのクラブ行きましてあまり好まれません。どちらかと言いますと疎まれてる存在でございます。以前はロータリー情報委員会という委員会がございまして、その情報委員会がロータリーに関する様々な情報を各クラブに伝達しておりました。し



かし今はその情報委員会が研修リーダーというシステムに変わって、ロータリー情報につきましては皆様に研修でお伝えする、或いは地区の方で言いますと皆様に指導するということになります。

1 年間このようなことを務めさせて頂き、次年度は地区の社会奉部門の部門委員長を仰せつかりましたので、明日からまた地区の社会奉仕部門の活動をしなければなりません。そちらにつきましては、当クラブでも特に有力な益子さんに出て頂いておりますので、地区の活動は地区の活動として、クラブの方はどちらかと言いますと今まで休んでばかりおりましたが、是非、今年の後半からはきちんと出席するように致しますので、今しばらくロータリーを続けさせて頂きたいと思っております。今後、実に有力な沼崎パストガバナー補佐が地区の研修委員になりますので、今度は沼崎さんからはしっかりと皆様に対して研修が行われるのではないかと思いますので、ご期待をしております。クラブの役員の皆様、一年間大変お疲れ様でございました。微力でございますが私の方もなんとか頑張っついていければと思っておりますので、宜しくお願い致します。ありがとうございました。

．．．．クラブ協議会．．．．

退会挨拶

高須賀正雄会員

私が狭山中央ロータリークラブに入会させて頂きましたきっかけは、何年か前に稲見さんより、私持病であります高血圧の治療について寶積先生を紹介して頂き、毎月寶積先生に診察して頂いたことござい



ます。昨年初めに先生から、「高須賀さん、ロータリーの仲間になりませんか」というお話をさせて頂きましたが、私は数年前に会社をリタイアしておりましたので、一応お断りを致しました。すると先生から「大丈夫だよ。うちの尚寿会の顧問になって頂くから、心配なくていいよ。」ということで、稲見会長の推薦で入会させて頂きました。

一年足らずの会員でございましたが、皆様には大変親切に頂きまして、私の 75 年の人生の中で素晴らしい時間を過ごすことができたことに、大変感謝しております。しかし一つだけ残念なことがございました。それは寶積先生があまりにも早くお亡くなりになったこと、これだけが一つの心残りでございます。

この度一身上の都合で退会させて頂きませんが、狭山中央ロータリークラブの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げまして、退会のご挨拶とさせて頂きます。本日はありがとうございました。

東 雅彦クラブ管理運営（親睦活動委員長）

皆様、こんにちは。

本日は、稲見年度クラブ管理運営、及び親睦活動の委員長退任、並びに会員退会のご挨拶を皆様の前で直接させて頂くところでしたが、急用が入ってしまい「ご挨拶」をあいさつ文代読にてさせていただきます。申し訳ございません。稲見会長、坂本副会長、江原幹事、一年間お疲れ様でした。



今年度は、昨年会長から委員長をおおせつかり、精一杯務めて参りましたが、今年に入りまして自身の仕事はかなり多忙となり、委員長の仕事を全うすることが難しくなりました。そのために会長始め会員の皆様には、多大なるご迷惑をおかけ致しました。心からお詫び致します。

特に副会長には数多くの代役を引き受けて頂き、有り難うございました。誠に感謝しております。次に会員退会につきましては、3年前に古谷パスト会長のご紹介により、子育て中の妻、美栄に替わり入会させて頂きましたが、自身の仕事の関係で例会への出席もここに来て、ままならない状況になりました。

自分の仕事に専念することと、妻がここで子育てが落ち着き、ロータリーに復帰できる状況となりました。丁度私の退会に伴い、再び妻が入会させて頂くこととなります。妻は狭山中央ロータリークラブが大好きです。フリーマーケットの品物も随分前から用意していたり、会員皆様とお会いし、交流をまた深めていく事をとても楽しみにしております。最強美女軍団にも入れて頂きたいと願っております。

是非とも私の後、妻の入会を温かい気持ちで受け入れて頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

尚、3年間と短い時間ではありましたが、皆様との貴重な出会い、そこで得られた多くの経験を今後に生かして参ります。また、家族同伴例会等でお会い出来ます時には、何卒宜しくお願い致します。皆様、今まで本当に有り難うございました。

栗原成実公共イメージ委員長

稲見年度の役員の皆様、会長始め、一年間お疲れ様でございました。楽しい一年だったと思っております。

公共イメージも変化がありまして、いつもフリーマーケットや他の行事を行いますと、ケーブルテレビにお願いし、映像を撮影して頂いていたのですが、在原さんが会社を辞めましたので、



次年度は少し色々な支障が出るのかなと思っております。

公共イメージとしては、地元に対して少し動いたのですが、もう少しロータリーのイメージをアップするためには、購買力、購読力のある大手の新聞にも取り上げられるような事業をしなければ、なかなかロータリーを理解してもらえないのではと思っております。今年は地元にくらかアピールをただけで終わってしまい、未だロータリーが市民に理解されていない所が多々あるような気がしております。

もう一年担当致しますので、来年度は頭をひねって、色々な委員会と相談しながらやっていきたいと思っております。ご協力お願い致します。

一年間、お世話になりました。ありがとうございました。

柴田 譲ロータリー財団委員長

あっという間の一年間ございました。

私、財団はクラブ内で2年担当致しまして、来年が3年目となります。江原年度が最終年度ということで、稲見年度は2年目に入っていたわけですが、そうした中で、関係者の協力を得ながら、青少年の育成に関する補助金申請を致しまして、20万円の補助金を頂き、市内の県立4学校のクラブ活動の用具関係を提供致しました。3回目までできておりますが、あと1回を江原年度にまたがってして頂ければと思っております。



来年度につきましては、引続き青少年の健全プロジェクトという立場で、地域の少年野球に視点を当てて申請致しましたところ、幸いに通りました。残念ながら10万円ということでしたが、来年度はそれに向けてお手伝いできるかなと思っております。

その関係の事務局をやっております須田さんという方に、9月1日に外来卓話で、今の自分達のクラブ野球の現状を話して頂けることになっております。是非その辺を良く聞いて頂き、我々がどのような形で協力できるか、勿論限られたお金でございますので、申請時には硬球ボールをお出ししようとしておりますけれども、さらに何か支援できるものがあれば、支援していきたいと思っております。

ロータリー財団のあり様を皆様に強く訴えたいのは、今年もそうですが、3年前に財団に寄付したものが、3年後に半分返ってくるということです。その半分返ってきたものの一部を私どもは使わせて頂いているということで、私が来年度まで担当致しますが、それ以降も引き続き補助金申請をして頂き、私たちのお金を如何に有効に使うか

ということに力点を置いて頂きたいと思います。財団の関係者は皆さんそう言うております。私どもが寄付をしたお金が、一部だけれども戻ってくるのだから、是非使って頂きたいと思います。申請時の手続きが若干ありますが、慣れてしまえば非常に分り易いことですので、やっていければと思っております。

狭山工業高校、狭山緑陽高校、狭山青陵高校の3学校に対しましては、クラブの色々な用具をお渡し致しました。来年は経済高校一点に絞って行い、あとは青少年の野球に対するものにシフトして行こうと思っております。一年間ご協力ありがとうございました。

中谷和美米山記念奨学委員長（退会挨拶含む）

今年度、米山記念奨学委員会と致しまして、3つの方針を掲げて活動してまいりました。

第一に、前年度に引き続きまして、米山功労者3名以上ということで、これは6名の方に申し出を頂きまして、無事に達成することができました。

二番目に、全員参加ということで、個人の平均寄付額の増資、これは昨年4月の地区の協議会で、地区の米山部門委員長から、今年度の地区の個人平均寄付額2万円を目標に努力して欲しいという協力要請を受けました。当クラブは米山功労者の方が6名でしたので、それを合計致しますと会員平均が約2万円近くとなり、私と致しましては十分地区の要望に応えられたと思っております。

三番目に、米山奨学生、学友の卓話を予定しておりましたが、狭山中央もここ2~3年会員増強を図って、新入会員の方がたくさん入会されました。それでこの米山記念奨学事業のことを理解して頂くために、米山の理事である金子先生をお呼び致しまして、米山の歴史や60年の歩みについて卓話をして頂いて、勉強して頂きました。

米山の記念奨学事業というものは、皆様の寄付で成り立っている事業でございます。次年度も皆様の協力をお願いしたいと思っております。私と致しましては、100%とはいきませんが、なんとか目標は達成できたと思っております。また、私事で恐縮ですが、今年度をもちまして狭山中央ロータリーを退会することとなりました。この壇上でこうしてお話することも、これが最後だと思いと、少しさみしい気が致します。狭山中央ロータリーに在席中は、皆様の要望に沿えることが出来ないこともあり、この場をお借りして、お詫びしたいと思います。

退会の主な要因と言いますのは、田舎の家の相続の件に関して、今長男が家を継いでおりますが85歳と高齢で病気がちなこと、そして悪いことに

子供がいないということがあります。これから先、家と墓を誰が見ていくかということになり、兄弟で相談の結果、私とその役目を受けるということになりました。兄の病気の状況にもよるのですが、場合によっては田舎へ行ったり来たり、向こうに長く留まることもこれからはあると思っておりますので、申し訳ないのですがクラブを退会する決断をしたということでございます。

今まで会員の皆様に親しくお付き合いをして頂き、有意義な8年間を過ごすことができ、非常に感謝しております。最後に、会員の皆様とご家族の皆様のご健康とご活躍、そして狭山中央ロータリークラブのさらなる発展を祈念致しまして、私の退会の挨拶とさせていただきます。8年間、ありがとうございました。

佐藤圭司 SAA

今、中谷さんのお話を聞き、私もグッときたのですが、これで全てが終わりということではありませんので、また顔を出して頂きたいと思っております。何せ会員増強の発火点は、中谷さんのあの一言だと思っており、まだ脳裏に残っておりますので、それを引き継いで、私たちもこれから頑張っていきたいと思っております。また、宜しくお願い致します。

1年間、私もSAA、何をやっていいかわからなかったのですが、とにかく司会進行ということでバタバタと致しました。一番つらかったのは板書で、字も下手でどうして良いかわからなかったのですが、前回の先輩江原さんから、左の端から書くのだよ、納得するまで綺麗に書くのだと言われ、そのためにはやはり11時30分には来なければと、なるべく早く来まして、何回も書き、やっと一年間終わることとなりました。

今回のSAAの中で、IM総会の司会を担当することになった時には驚きまして、私にできるのかと思ったのですが、益子さんに全て書いて頂き、その通りに一字一句間違わないよう、何回も練習をし、なんとかIMが成功したこと、これだけで今回は全てのSAAが終わったという感じが致しました。最後の懇親会もとても和やかでしたし、とても良かったかなということが脳裏に残っております。また来年も中央ロータリーのために何か頑張っていきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。



坂本松男副会長

ぶれない男稲見会長の下で副会長をさせていただきまして、誠にありがとうございますました。

稲見会長は例会の重要性を充分認識し、互いが切磋琢磨して自己研鑽に励む修練の場づくりの運営にあたり、ロータリーの質を高め、感銘を感じ出席の意義が満たされる例会を目指して、一年間努力をなされました。私にも副会長として会の計画及び運営や会長の時間の代行等々、修練の場を与えて頂きましたが、その期待に充分に応えることが出来ませんでした。この経験を今後の人生に生かしていきたいと思っております。

私自身、誠に残念でたまらない事があります。それは、私の再入会に際し、推薦人としてご努力をしていただき、様々な面で大変お世話になった、寶積先生を失ってしまったことです。寶積先生はロータリーが大好きな方でありましたし、私たちに対してもいつも優しいお気持ちで接していただいたときのことは、いつまでも心に生き続けていくと思えます。心よりご冥福をお祈りさせていただきます。

なお、退任に当たり、様々なことで大変お世話になりました稲見会長を始め、役員、会員の皆様に感謝を申し上げ、更に事務局の斉木さん、鈴木さん、例会場しても多大なご協力をいただきました東武サロンのスタッフの方々にも厚く御礼を申し上げます。

終わりに明日から始まります、江原年度が更に素晴らしい年度になりますよう、ご祈念を申し上げます。ありがとうございました。

江原伸夫幹事

幹事と致しまして、力不足で、本当に皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。

実は幹事とはということで昨年勉強会に行ったときに、一冊の本を頂きました。読んで出た答えは、本来であれば幹事が会の運営を全て熟知し、会長にはいわゆる旗振りをしっかりして頂き、その下で幹事として動けといったような意味合いだったように記憶しております。しかし実際の所はなかなか皆様のお役に立つことはできませんで、周りの方々に色々ご尽力を頂き、特に会長には誠に申し訳なかったのですが、旗振りだけでなく、会長ご自身にも色々なご尽力を頂いてしまいました。会長、副会長には色々ご迷惑をお掛けしたと思っておりますし、



会員の皆様にも申し訳ない気持ちでいっぱいでございます。

私が出来なかった分は、次年度幹事の小島さんに、私の思いを継いで頂きたいと思っておりますが、とにかく一番私が思っていることは、今年度、本当にそつがなく、物事全て当初考えていた通りに動いたという思いが強でございます。先ほども申し上げましたが、それも皆様のご協力があつて、もしくは会長、副会長の下地があつてのことと思います。逆に私はその上に乗っていたことを、非常に強く反省しております。しかしながら各例会、通常例会は勿論のことですが、家族同伴を伴った、そのような例会が非常に楽しく、先程 SAA の佐藤さんからもお話がございましたが、今年度は沼崎ガバナー補佐もいらっしゃる中で、全て行事に対してきちんと、恐らく他の外に向けた対応も非常にしっかりされた一年間ではなかったかと思っております。

全て皆様のご協力のおかげだと、心から感謝しております。一年間、本当にどうもありがとうございました。また来年も、頼りない会長になるかと思いますが、引き続きご協力のほど、宜しくお願い致します。ありがとうございました。

稲見 淳会長

一年を振り返ってみますと、大変でしたけれどもあつという間でした。

まず私が一番最初に考えたことは、出来るだけ私が動かなくても、何とか会が進めばこれが一番良いかという考えでした。また寶積先生から従来副会長がもっと仕事をした方が良いというアドバイスを受けまして、先生から副会長の時間を持つたかどうかということで、その時は副会長が坂本さんということは決まっておりましたけれども、副会長の時間を月一回設けて、外来卓話を多くせず、パスト会長に外来卓話の一面を担って頂きました。パスト会長に頑張ってもらったおかげで、外来卓話で心配することはありませんでした。従来副会長と違って、坂本副会長に幹事と2人で大半の骨格を作ってもらい、全ての行事に対して綿密に対応して頂きました。これは見事なもので、IM もしかり、家族親睦の夜間例会、旅行、これも私と致しましては、満足できたと考えております。

3分間スピーチも良かったと思っております。これも私が話す時間をできるだけ減らすために合理的に考え、そして全員参加型ということで、やはり必ず年に1回は皆様にこの壇に立って頂いてお話頂くことは重要ではないかと思ひまして、3分間スピーチを入れさせて頂きました。一年間を振り返りますと、1000回記念がございました。これは先日もお話した通り、いきいき連に



舞って頂いて、本当に記念になったのではないかと考えております。そして7月の例会の時には若松パスト会長のご紹介で、ボクシングチャンピオンの戸高秀樹様に外来卓話をして頂きましたが、やはり世界を制する人の言うことは違うと思いました。若松パスト会長には9月に中山恭子さん、そして11月に木村庄之助さんと、恐らくお金がかかっているのだろうなと思っております。全て甘えてしまいましたが、本当にどの方をとってもやはり、上にいる人の話は思いと思いました。

10月にゴルフ委員会が主催をし、高須賀会員に取って頂いた霞ヶ関で、吉川委員長中心に楽しいゴルフと夜間例会が出来たと思っております。やはり優勝者は中谷さんでしたけれども、懲りずに、是非中谷さんにはゴルフに参加して頂いて、連覇を目指して頂きたいと思っております。

忘年会ですが、こちらは大勢の家族会員の方に参加して頂き、充実していたのではないかと思います。そして3月9日、10日は親睦旅行でした。こちらは大勢の方に参加して頂き、深大寺でそばを食べ、シンフォニーで食事をし、日航ホテルに泊まって、帝国ホテルで昼食、そして宝塚を見学と、ほとんど坂本副会長に実践をしてみさせて頂き、予定を組んで頂きました。誰にでも行ける、コンパクトで内容のある旅行を目指したわけですが、これも良かったのではないかと思います。3月14日はIMでした。これは栗原委員長を中心に、私たちも出来得る限り協力を致しました。おかげ様でスタッフを揃えて約180名参加して頂き、その大半に二次会にも出席して頂きました。二次会もかなり皆さんお酒を飲んで、他のクラブの会長さんからも楽しいという、そのような話を聞きました。沼崎ガバナー補佐にも満足して頂けたのではないかと思います。やはりガバナー補佐とは職として大変だと思います。年に何度もクラブを訪問し、まして今回は所沢地区が前年のこともあり非協力的だった部分もあり、ガバナー補佐は苦勞されたのではないかと思います。客観的に見ても大変そうでした。しかしIMがあれば上手くいったということは、沼崎ガバナー補佐の能力があるからということであろうと思っております。

そしてお花見、これはニックスで行ったわけですが、散り加減の桜を見ながら楽しい時を過ごさせて頂きました。そして先日の夜間例会、これも内容的には手品があり、私も演歌歌手と一緒に歌わせて頂き、そしてボセスラティーナと一緒に歌い、皆で手をつないで踊り、楽しい時間でした。本当に綿密に計画して頂いたおかげだと思っております。あのときのテープを見ますと、小島さんが上手いと皆褒めておりました。本当は歌手なのじゃないかと言うくらい上手くて、思わず私もビデオを見ながら拍手をしてしまいました。是非機会があったら、皆さんに見て頂きたいと思っております。

一年を振り返って見て、寶積先生が5月14日に亡くなったということは、私にとっては本当にショックでした。しかし致し方ないかなと考えております。

そして柴田さんの指導の元、地元の高校のスポーツクラブの器具を寄付できたということ、20万円相当の物を今年は3校、来年江原年度で狭山経済1校へ寄付する訳ですけれども、これは本当に良い事業で、校長先生が非常に喜んでおりました。タダで器具を貰うわけですから、皆絶対怒るわけではなく、地元に貢献したという意味では、非常に良かったのではないかと考えております。会員増強については、8名増強できました。しかし寶積先生、中谷さん、高須賀さんの3人が退会という形になりますので、その部分では残念に思っております。しかしこれだけ増強できたクラブはないのではないかと考えております。ガバナー補佐も出ておりますので、増強には力を入れました。やはり増強あつてのロータリークラブではないかと考えております。狭山ロータリーにしても、明日から7月ということですが、来年の役員がまだ決まっていないということです。我々も少し油断をして増強を止めると、すぐに20人も割ってしまうということは、今どちらかという私の考えているところでは、ロータリーはあまり時代には属してはいないのかも知れません。一人一人が優秀な人を入れるということをしなければ、まずいのではないかと考えております。

最後にニコニコ、私が調べましたところ、今日で290万円皆さまから頂きました。これも過去にはなかった金額ではないかと考えております。やはり色々な行事を行うのに、お金が無くては先立たないということですから、貯蓄をしていく、会社と同じで、あるから良いのだということではなく、毎年毎年それを増やして行って、将来に備えることが重要なのではないかと思います。一番重要なことは会員増強です。中谷さんと高須賀さんには是非もう一度戻ってきて頂けたらと思っております。そして是非来年も増強に力を入れて頂きたいと思っております。

最後に、江原年度に向けてエールを送ります。江原さんも奥富さんから急遽、エレクトになってまだ準備段階が半年です。大変かとは思いますが、色々知識豊富な江原さんですので、大丈夫、楽しいロータリーが送れるのではないかと思います。ありがとうございました。

ニコニコボックス



- 稲見君 一年間、会員、会員家族、斉木さん、鈴木さんたいへんお世話になりました。ご協力ありがとうございます。
- 江原君 稲見年度の幹事としては何も役立てず、会長始め各役員の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。一年間ありがとうございました。次年度もご協力を宜しくお願い致します。
- 小島君 稲見会長はじめ、役員の皆様一年間お疲れ様でした。次年度もご指導宜しくお願い致します。
- 栗原(成)君 稲見会長はじめ役員の皆様、一年間ありがとうございました。本当に楽しい(一部悲しい)年でした。先週の夜間例会ドタキャンですみませんでした。
- 沼崎君 中谷さん、残念ですが又縁があるでしょう、お元気で！
今日で一年間のガバナー補佐の任期が終わりです、皆さんの支えで任務を全うできました。ありがとうございました。
- 中谷君 狭山中央RCの皆様、8年間大変お世話になりました。今後クラブの更なる発展を祈っています。
- 奥富君 稲見年度ありがとうございました、感謝申します。
- 坂本君 稲見会長、多くの皆様のご協力に感謝申し上げます、一年間ありがとうございました。
- 佐藤君 稲見年度最後の例会、本当にお疲れ様でした。私SAAも、つたない司会進行で皆様にはご迷惑をお掛けいたしました。次年度もワクワク楽しいロータリーで行きましょう。
- 清水君 稲見会長はじめ皆様一年間たいへんお世話になりました。
- 園部君 中谷さん、高須賀さんお世話になりました。また、ご一緒できる事を願っています。
- 若松君 稲見会長他、役員の皆様一年間ご苦労様でした、そしてありがとうございました。

2014～2015年度 ニコニコ累計額	2,902,000円
------------------------	------------

※ 次の例会 第2副SAA 肥沼君 小室君
7月14日(火) 12:30～13:30
外来卓話 狭山警察署 警視 藤井孝雄様

